



モバイル空間統計<sup>®</sup>

# 平成30年 台風第21号 分析レポート

平成30年10月



- 調査に用いたモバイル空間統計の仕様
- 平常時との比較分析結果
  - ① 2府1県の県庁所在地
  - ② 2府1県の中心エリア
  - ③ 関西国際空港



項目	仕様
対象日	発災時：2018年9月4日(火)、9月5日(水) 平常時：2018年8月7日(火)、8月8日(水)
エリア	2府1県（大阪府・京都府・兵庫県） 全域500mメッシュ

# ① 2府1県の県庁所在地 ～人口3Dマップ～



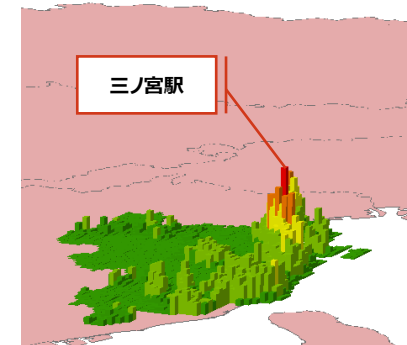
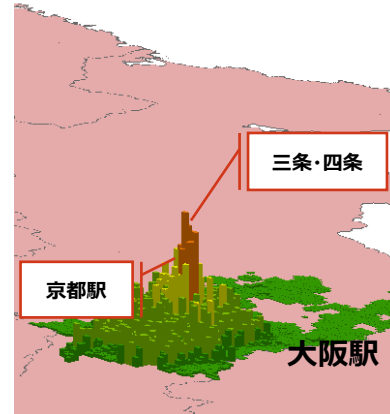
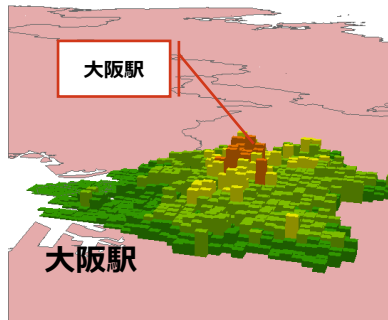
- 発災当日と平常時の14時台を比較した
- 発災当日は平常時と比べ、3市とも中心エリアの人口が大幅に減少している

## 大阪市

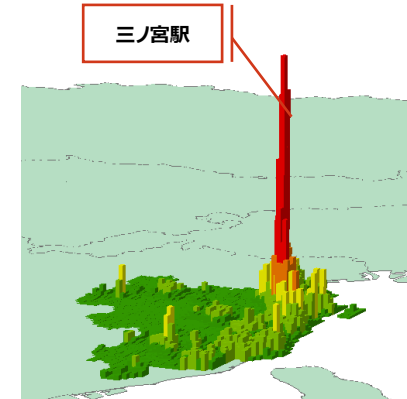
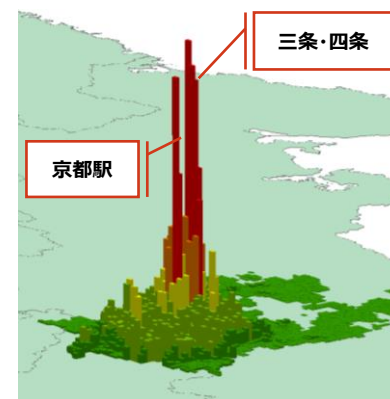
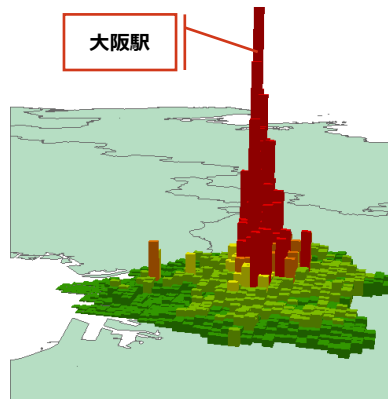
## 京都市

## 神戸市

発  
災  
当  
日



平  
常  
時



凡例

少ない



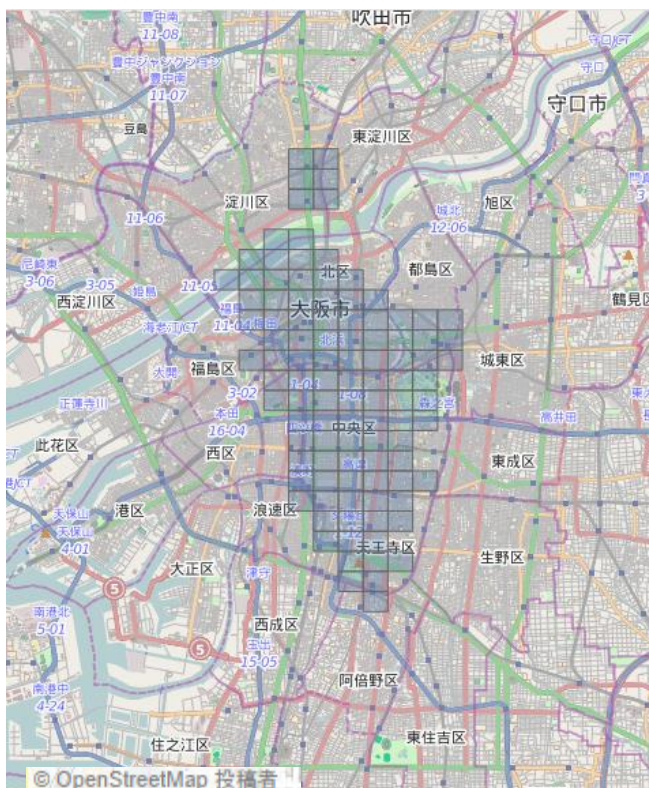
多い

## ② 2府1県を中心エリア ～分析対象エリア～

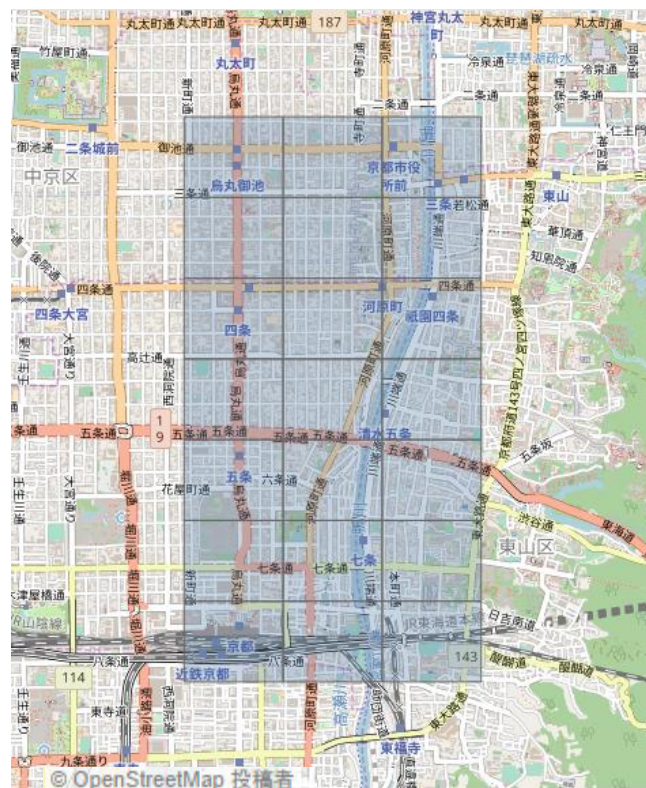


- 2府1県の県庁所在地において、人口が集中する中心エリアを対象に分析を行った

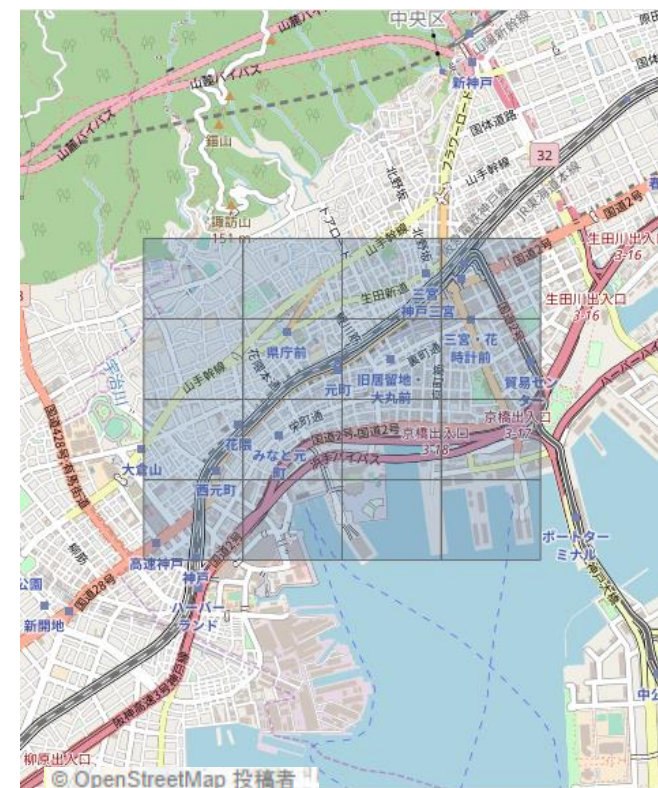
### 大阪市



### 京都市



### 神戸市



## ② 2府1県を中心エリア ～人口推移～



- 発災当日は平常時のピークに比べ、各エリアの人口はいずれも5～6割程度減少した
- 発災当日は平常時よりも人口減少が早く始まっており、計画運休に備えて帰宅を早めたと考えられる
- 発災翌日は平常時のピークに対し、人口差が1割未満であり、回復傾向にある

### 大阪市

発災当日

発災翌日

約7万人差  
(6%減)

約70万人差  
(57%減)

台風  
通過

時刻

### 京都市

発災当日

発災翌日

約1.1万人差  
(7%減)

約7.7万人差  
(50%減)

台風  
通過

時刻

### 神戸市

発災当日

発災翌日

約1万人差  
(6%減)

約9万人差  
(60%減)

台風  
通過

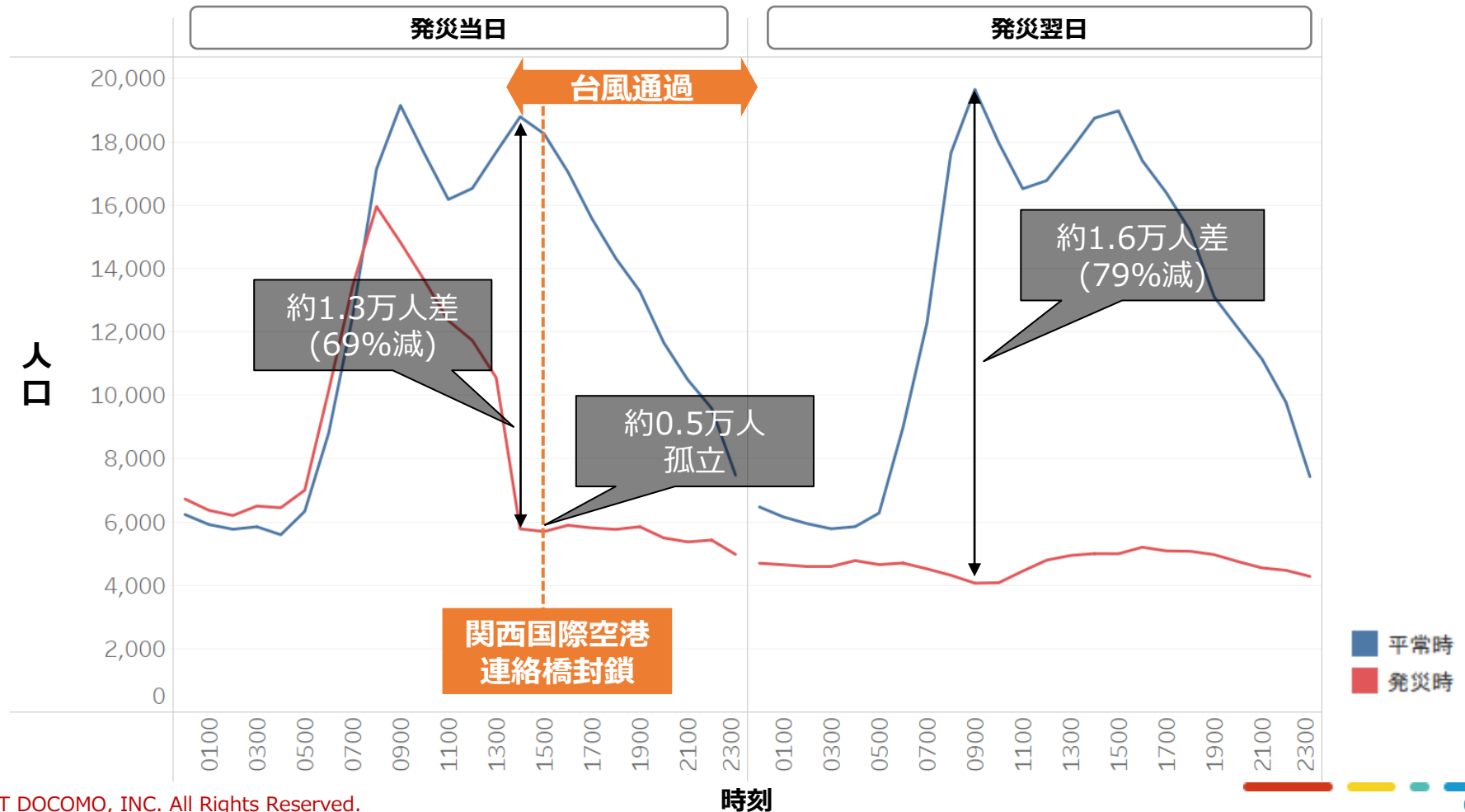
時刻

■ 平常時  
■ 発災時

### ③ 関西国際空港 ～人口推移～



- 台風通過時と平常時の人口差は最大7割程度の差となった
- 関西国際空港への連絡橋封鎖後も約0.5万人が滞在しており、取り残された人々と考えられる
- 発災翌日も最大8割程度の差があり、関西国際空港では台風の影響が継続していることが伺える



**NTT**  
**docomo**